

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー					
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者				櫻井 進一	
		評価日				令和3年6月4日	
関連課	危機管理防災課、都市計画課						
目標	広域交通、市内交通の円滑化や災害時の安全性の確保を目指し、幹線道路や身近な生活道路の整備を計画的に進める。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 道路交通体系の充実</p> <p>○安全で快適な道路環境の確保に向け、広域幹線道路の整備については国や県、埼玉県警察、関係市町に積極的に働きかける。また、市内幹線道路を計画的に整備する。</p> <p>○生活道路については、日常生活の利便性や安全性の向上を図るため、道路改良を進めるとともに、緊急車両の活動に支障がなく、災害時に迅速に避難できるよう計画的に整備する。</p>						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	幹線道路整備延長					
		説明	市内を走る幹線道路の延長、安全で快適な道路整備を行う指標					
		単位	m					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	13,972	13,972	14,112	14,312	14,512	14,530
		実績値	13,880	13,880	13,925			
	指標 2	指標名	狭あい道路対策延長					
		説明	市内の狭あい道路の対策延長、日常生活の利便性・安全性の向上を図る指標					
		単位	m					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,132	2,167	2,192	2,254	2,271	2,288
		実績値	2,048	2,048	2,218			
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	600,817	513,954	1,564,225	834,003		
	人件費	143,608	122,899	112,917	100,695		
収入	特定財源	224,504	115,160	1,329,507	291,482		
	一般財源	519,921	521,693	347,635	643,216		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	幹線道路整備事業	上沢勝瀬通り線の整備に向けて、土地売買契約と借間人補償契約を合計11件締結した。	上沢勝瀬通り線整備については、用地未取得が残り2件となり、令和3年度の契約締結に向けて、交渉が進んだ。このほか、市道幹線6号線については、歩道整備用地買収契約書を締結した。	道路橋りょう新設改良事業 上沢勝瀬通り線整備事業
取組②	狭あい道路対策事業	ふじみ野市道の狭あい対策事業として、歩道整備や待避場所の整備を行う。	市道D-133号線及び市道E-177号線の歩道整備に向けて、地権者との合意形成を図れるよう交渉を行っている。また、市道E-177号線の大井中学校前歩道整備工事を完了した。	道路橋りょう新設改良事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	上沢勝瀬通り線については、残り2件の土地売買契約の締結や道路整備に向けた設計業務の発注、関係機関との協議を実施し、事業の推進を図る。 幹線5号線及び幹線6号線については、地権者のご理解とご協力をいただけた箇所から、歩道整備工事を実施した。 狭あい道路対策については、用地取得が必要となる事業で、地権者の意向を確認しながら進めていくため、計画どおりに進まない場合がある。引き続き、ご理解とご協力を得ながら用地取得に努める。また、市道E-177号線の大井中学校前歩道整備工事を完了した。このほか、三芳町側の狭小住宅地の建物4棟の建物調査を実施した。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等管理事務		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実に図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 01土木総務費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～		評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	市道に工作物、物件などを設ける者に対し、指導、許可、指示を行い、占用物件を適正に管理する。市で管理している道路線について、道路法第28条に基づき、道路台帳を整備し保管する。土地分筆登記等に伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。			
	事務事業の経緯	道路法第32条の規定に基づき、道路占用許可申請の事務手続きを行っている。また、同法第28条の規定に基づき、道路台帳を整備する。平成26年から5ヵ年かけ道路台帳統合業務を実施し、道路台帳のシステム化を図った。このほか、寄附採納等を受けた場合には台帳修正を行っている。また、土地分筆登記等に必要官民境界の確定事務を行っている。			
	事務事業の概要	道路法第32条の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする者に対し、必要な許可条件を付して許可を与え、占用者から占用料を徴収している。道路法第28条に基づき、道路管理者は、市で管理する道路線について、道路台帳を整備し保管する。土地分筆登記に伴う官民境界の確定のほか、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。道路広域行政に関する事務のほか、ボランティア団体の活動支援を行っている。			
	令和2年度の主な取組	道路占用者会議を书面開催により実施して、工事実施時期の調整を図った。また、占用工事による影響範囲を含め本復旧の指示を行い、必要に応じて占用者と立会い、工事に関する苦情の抑制を図った。道路用地の帰属、寄付のほか、官民境界の確定により、道路法第28条の規定に基づき、道路台帳の整備、補正を行った。道路台帳に基づき、普通交付税などの基礎数値資料及び道路施設現況調査資料を作成を行った。土地分筆登記、土地売買などに伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく境界証明書の発行を行った。道路広域行政の各協議会の活動への協力のほか、研修会等に参加し職員の知識向上を図った。官民が連携し、快適で美しい道路環境づくりの推進を図った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	3.20	4.70	4.70
		人件費	25,530	37,868	37,868
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.00	0.00
		人件費	1,922	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	2.00	2.00	2.00
	人件費	7,200	6,259	0	
人件費計		34,652	44,127	37,868	
事業費	報酬※	0	6,912	7,208	
	賃金※	8,447	0	0	
	需用費	763	699	791	
	委託料	11,354	13,383	15,807	
	使用料及び賃借料	2,747	2,712	2,490	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	124	124	124	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	2,990	3,996	5,125		
支出合計		53,877	65,694	69,413	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	11,618	12,952	31,519
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	20	25	26
一般財源		42,239	52,717	37,868	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		369	454	331	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	道路占用申請件数		
	説明	占用物の老朽化により、更新が必要となるため、申請が増える予定。		
成果	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	550	550	550
	実績値	378	435	
指標 2	指標名	市道の実延長		
	説明	開発道路及び私道採納により台帳整備していく必要がある。		
成果	単位	k m		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	298	299	300
	実績値	298	299	
指標 3	指標名	境界証明件数		
	説明	土地分筆登記、土地の売買に必要な証明となる。		
成果	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	150	150	150
	実績値	159	157	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>○道路法の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする占有者に対し、必要な許可条件を付して、許可を与え、占用料の徴収している。毎年度、当初に、各占有者から年間工事予定箇所を提出させ、工事箇所が重複する箇所については、工事時期を調整させるための道路占有者会議を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス拡散防止対策として、書面開催により実施した。</p> <p>○占用工事の本復旧時には、必要に応じ占有者と立会いをし、占用工事による影響範囲までの本復旧を指示し、苦情の抑制を図っている。</p> <p>「令和2年度占有者会議」 令和2年6月1日（月）に資料送付</p> <p>○民間開発による道路の帰属、私道寄附採納、用地買収によって、市の所有となった道路用地について道路法第28条の規定に基づき、道路台帳の整備、修正を行っている。道路台帳を整備することにより、官民境界を確認するための資料として活用することができる。また、地方交付税、道路施設現況調査等の基礎資料ともなる。</p> <p>「令和2年度 道路台帳補正委託業務」 新規 8路線 0.43 k m</p> <p>○土地分筆登記、土地売買に伴って、官民境界の確定が必要なことから、境界確認業務、境界証明書の発行を行っている。</p> <p>○広域行政の協議会の研修会等に参加することにより、職員の知識の向上を図り、他の行政担当者との繋がりを持つことで、身近な課題等の解決に向けて相談が容易となり、事務の効率化も図れる。</p> <p>「協議会」 令和2年度末 5協議会</p> <p>○官民が連携して、快適で美しい道路環境づくりを推進し、市が管理する道路をボランティアで清掃活動、美化活動を行っていただいている。市では、認定団体に対して、ゴミ袋・軍手等を支給し、団体が収集したゴミ等を回収している。</p> <p>「道路サポーターズ団体」 令和2年度末 8団体</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路法の規定に基づき、道路管理者として、適正に市道を管理するために、必要な事務であるため
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路舗装補修事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令		
事務事業の内容	事務事業の目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路・水路・橋梁等の補修を計画的に行うことにより快適な道路網を築く。		
	事務事業の経緯	道路法により市が管理する道路については、年3回の一斉点検、道守からの情報、議会及び市民からの要望に基づき、損傷箇所や危険箇所を把握し、損傷及び老朽化の著しい道路・水路等の修繕・補修工事を計画的に実施する。また 市が管理する橋梁については、計画的に修繕を実施している。		
	事務事業の概要	破損及び老朽化の著しい道路・水路・橋梁等の修繕・補修工事を実施する。バリアフリー対策として、街路樹の根による歩道舗装隆起部分の補修を実施する。		
	令和2年度の主な取組	道路の老朽化に伴うクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を確保した。歩道部の街路樹の根による段差を解消して、歩行者等の安全な通行を確保した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.80	1.90	1.70
		人件費	14,361	15,309	13,697
	再任用職員	従事人数(人)	1.00	0.00	0.00
		人件費	3,844	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		18,205	15,309	13,697	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	40,141	39,608	40,095	
	委託料	18,627	7,013	0	
	使用料及び賃借料	1,645	1,688	1,714	
	工事請負費	220,980	107,676	142,602	
	負担金、補助及び交付金	492	4,634	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	6	30		
支出合計		300,089	175,934	198,138	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	28,500
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	22,460	29,296	32,641
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	54,500	103,300	48,400
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		223,129	43,338	88,597	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,951	373	773	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	修繕件数		
	説明	計画的に老朽化した道路を修繕することで、緊急的な道路等の修繕箇所数を減らし市民の安全を確保する。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	50	50	50
	実績値	69	77	
指標 2	指標名	道路舗装修繕面積		
	説明	市が管理する道路舗装修繕面積実績を毎年把握する。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から在宅で勤務する方が増え、苦情要望が増加し部分的な舗装修繕、施設修繕は増加し緊急修繕等に対応した。しかしながら広範囲に及ぶ大規模な修繕要望は少なく道路舗装修繕面積の実績値については減少している。		
活動	単位	m ²		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	6,000	6,000	6,000
	実績値	9,966	5,122	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ●道路舗装等修繕 東部地域 49件 西部地域 27件 緊急修繕 1件 ●委託料 道路施設長寿命化計画・個別修繕計画策定業務委託 L=85km（幹線道路・緊急輸送路に指定されている路線のほか、石綿管が埋設されている路線） 計画的に修繕を実施し、事業費の平準化を図る ●使用料及び賃借料 土木積算システム借上げ料（部内システム使用人数 37人） 概要 積算システムを使用することにより、設計業務の効率化を図る。 賃借料 1,687,680円 ●工事請負費 市道改修工事等 概要 道路の老朽化に伴う舗装のクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を図るため、道路改修、修繕を実施する。 市道F-25号線舗装修繕工事外 6路線・道路舗装修繕工事（単価契約）114件 工事内容 道路舗装修繕工事、部分的な舗装修繕、道路施設等の修繕 工事請負額 105,248,200円 工事内訳は、内部資料参照 バリアフリー関係 概要 街路樹の根が樹木の成長とともに隆起している箇所を継続的に修繕することにより、歩行者の安全な通行を確保する。 市道H-36号線歩道部植栽樹撤去工事 L=116m 舗装 270m² 2,170,300円 市道幹線9号線隆起箇所修繕工事 1箇所 257,400円 ●負担金 藤間北野歩道橋修繕工事費 ふじみ野市負担分（1/2） 4,634,338円
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路は、市民生活に欠かせないものであることから、適切な維持管理を行っていく必要がある。小規模な補修は単価契約や職員で早期に実施し、大規模な修繕については、計画的に道路舗装修繕工事を実施することで、市民の安全・安心の確保ができ、また、舗装の長寿命化を図るためにも必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路街路樹緑地帯管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～		評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法			
事務事業の内容	事務事業の目的	歩道等に植えられている街路樹を計画的に適正管理することにより、良好なまち並景観と快適な道路環境を保全する。			
	事務事業の経緯	都市計画道路等の築造、土地区画整理事業により造られた道路の歩道等には、潤いとまち並景観の向上を図るため、各所に渡って街路樹が植えられている。街路樹は毎年枝が成長するため、枝を整枝することで良好なまち並景観の保全を図る。			
	事務事業の概要	市が管理に係る道路に植えられている街路樹の管理を継続して行う。さらに、植えられてから経年経過した老木の樹木診断を行い、適正管理することで、市民の安心・安全の確保を図る。			
	令和2年度の主な取組	歩道等に植えられている街路樹の剪定及び老木の樹木診断を実施して、必要に応じては伐採を行い、良好な景観と快適な道路環境を保全した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.29	2.10	1.70
		人件費	18,270	16,920	13,697
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.20	0.20
		人件費	1,922	1,061	1,061
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		20,192	17,981	14,758	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	261	286	57	
	委託料	31,005	34,741	36,479	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	16	66	66		
支出合計		51,474	53,075	51,360	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		51,474	53,075	51,360	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		450	457	448	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	街路樹剪定業務委託		
	説明	市が管理する道路等に存する街路樹を適正に管理し、毎年剪定、伐採本数の実績を把握することで計画的に実施する。		
活動	単位	本		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	668	600	600
	実績値	603	689	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>道路街路樹緑地帯管理事業は、市が管理する道路・歩道等に存する街路樹及び緑地帯を適正に管理する事業である。</p> <p>街路樹については、街路樹種ごとの剪定期期び剪定の程度を把握し、樹形を維持する事を軸に計画的に剪定を実施した。また、緑地帯については、低木の剪定、草取り等を実施し、良好な景観と快適な道路環境を整えた。</p> <p>近年は、街路樹の老化の進行が課題となっており、枯損による倒木の恐れを未然に防止するため、樹木医による樹木診断を行い、枯損木の伐採を実施し、道路を安心安全に利用できるようにした。また、台風、強風による倒木についても道路交通の妨げにならないよう、早急に対処した。</p> <p>令和2年度は、高木剪定が676本、樹木診断が14本、枯損木、交通支障に伴う伐採を13本実施した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路の景観を保ちつつ、成長した枝葉が起因する信号機や道路標識の見通しの確保、害虫駆除、落葉対策等を講じるために必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等営繕保守事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和3年6月4日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	生活道路の維持、補修また、水路敷等の維持管理を行い市民の安心・安全を確保する。		
	事務事業の経緯	市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持及び安全を確保している。		
	事務事業の概要	市道、水路敷等の維持、補修を行う。また、各課からの業務依頼を受けて公共施設の維持補修を行う。		
	令和2年度の主な取組	台風前の道路側溝等の清掃、台風時の土嚢設置、台風後の路面清掃、路面凍結対策、市内の道路の簡易的な補修のほか、水路敷、公園などの草刈りを実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	3.80	2.04	1.90
		人件費	30,317	16,437	15,309
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		30,317	16,437	15,309	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	3,142	2,807	3,302	
	委託料	47,141	35,031	46,098	
	使用料及び賃借料	4,746	6,992	8,878	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	539	672	683	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	16,512	2,676	2,308		
支出合計		102,397	64,617	76,578	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	130	0	0
一般財源		102,267	64,617	76,578	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		894	556	668	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情対応件数		
	説明	修繕等の対応の必要があるため		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	500	500	500
	実績値	635	1,042	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>道路等営繕保守事業は、市内約298kmの市道や水路の管理を実施しているものである。管理は、職員による簡易な補修及び路面清掃や側溝清掃、道路用地に係る除草等の維持管理を実施するものである。台風の上陸が予想される前に側溝清掃を行い、台風後にも路面及び側溝清掃を実施した。また、冬季における路面凍結対策、近年では、道路の植樹マスのほか水路敷など生える草の生育が早くなっていることから、状況により除草の回数を増やし対処したものである。</p> <p>市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持のほか、安全安心な道路を確保した。また、職員で対応できない市民の苦情要望については、迅速に対応できるよう修繕契約業者との連携も図ったものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度営繕保守委託の実績 道路等営繕保守（東部地区） 件数 14件 道路等営繕保守（西部地区） 件数 16件 ●道路清掃等で発生した土砂などの廃棄物を処分
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	修繕営繕ともに複数の業者と単価契約を締結することにより、市内全域をカバーし、迅速な維持管理の対応が可能となるため
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路橋りょう新設改良事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 02道路新設改良費			
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏	
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和3年6月4日	
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路の新設・拡幅・歩道の整備、側溝の整備を計画的に行う。また、渋滞解消のための交差点改良も計画的に実施する。			
	事務事業の経緯	道路は国の産業基盤の骨格を有するもので、道路新設・拡幅改良、歩道整備及び側溝未整備路線の整備を計画的に行うことで、交通の利便性を図るとともに市民生活の向上に資する。			
	事務事業の概要	ふじみ野市将来構想、3か年実施計画、都市計画マスタープランに基づき道路整備計画を作成し、計画的に道路改良工事等を行う。			
	令和2年度の主な取組	安全で快適な住環境を充実させるため、大井中学校前の市道E-177号線歩道整備、市道幹線5号線及び幹線6号線の一部の歩道整備のほか、市道G-154号線ほかの道路側溝整備、舗装整備工事を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.90	1.40	1.40
		人件費	15,159	11,280	11,280
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		15,159	11,280	11,280	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	63	55	91	
	委託料	21,841	18,491	15,842	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	17,488	79,023	32,400	
	負担金、補助及び交付金	5,793	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	60,531	1,046,512	134,068		
支出合計		120,875	1,155,361	193,681	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	23,144	12,000	26,400
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	3,288	5,635	7,821
		地方債	0	5,300	16,400
		基金	0	0	0
		その他	0	1,025,309	0
一般財源		94,443	107,117	143,060	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		826	922	1,249	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	幹線道路整備延長		
	説明	幹線道路整備延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	14,140	14,270	14,400
	実績値	13,880	13,925	
指標 2	指標名	狭あい道路対策延長		
	説明	狭あい道路対策延長の実績を毎年、把握する。		
活動	単位	m		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	2,048	2,128	2,208
	実績値	2,048	2,218	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>■道路新設改良工事（業務委託・工事請負・用地取得・補償費等） 概要 安心安全で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や新規に設置する道路の整備を計画的に実施する。</p> <p>●業務手数料 E-177号線用地取得に伴う土地鑑定評価業務委託外 1,190,600円 なお、繰越明許設定（登記委託料）5,435,000円</p> <p>●委託料 E-177号線物件調査業務委託その2、土地評価業務委託外 11,451,000円</p> <p>●工事請負費 道路新設改良工事 市道G-154号線側溝整備工事 外 5件 工事請負額 49,503,455円 工事内訳は、内部資料参照 なお、事故繰越設定 10,690,900円（市道F-90号線歩道整備工事） 道路反射鏡設置工事 新設 5基 工事請負費 2,200,000円</p> <p>●道路用地取得（3.84㎡）624,000円・東口駅前広場（1,273.87㎡）1,025,308,250円 なお、繰越明許設定（F-91号線・E-177号線歩道用地）20,062,000円</p> <p>●補償費 電柱等移設補償費 7,186,846円 なお、繰越明許設定（E-177号線歩道用地）6,108,000円</p> <p>■繰越明許（令和元年度⇒令和2年度）</p> <p>●委託料 E-177号線物件調査業務委託その1 7,040,000円</p> <p>●工事請負費 市道E-177号線歩道整備工事 20,865,900円・幹線5号線歩道整備工事 3,978,700円 市道幹線6号線安全対策工事 2,475,000円</p> <p>●市道幹線5号線用地取得（66.50㎡）2,426,500円・市道幹線6号線用地取得（36.68㎡）2,091,000円</p> <p>●補償金（市道幹線5号線・市道幹線6号線）7,357,591円</p> <p>■事故繰越 市道幹線10号線用地取得（1.24㎡）326,817円 道路新設改良工事により、道路排水機能の向上を図り、また、歩行者等の安心安全を確保した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	安全安心で快適な住環境を充実させ、また、都市計画道路の計画的な整備、児童生徒のほか、歩行者の方が安全安心して利用できるよう計画的に、新規に設置する道路や歩道整備が必要であるため
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上沢勝瀬通り線整備事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 01都市計画総務費			
所管部課		都市政策部 都市計画課		評価責任者	谷古宇 洋介
事務事業期間		平成25年度～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、道路法、土地収用法			
事務事業の内容	事務事業の目的	現状で幅員狭小かつ一方通行路である約140m区間について、通学児童の安全確保及びふじみ野駅へのアクセス等交通利便性向上のために整備を推進する。また、歩道が整備されることにより、通学児童の安全確保や周辺の生活道路へ混入している通過車両の減少につながる。			
	事務事業の経緯	上沢勝瀬通り線は、ふじみ野駅東側地域に位置し、本市及び富士見市の2市にまたがる幹線道路である。また、県道東大久保ふじみ野線と県道ふじみ野朝霞線を結び、ふじみ野駅東口に接続する道路として早期の交互通行が望まれていることから整備を行うものである。			
	事務事業の概要	①用地取得 7件 ②道路設計及び整備工事			
	令和2年度の主な取組	1 用地買収について 用地取得ができていない残り3件のうち1件と土地売買契約の締結をした。また、当該用地に存する共同住宅の借間人と交渉し、9件の対象者と補償契約を締結した。 2 道路整備について 県道との交差点形状や隣接する宅地からの県道への安全な車両の出入りについて、県道管理者である埼玉県と協議が進んだ。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.90
		人件費	3,989	7,252
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10
		人件費	385	531
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		4,374	7,783	7,783
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	20	41
	委託料	3,465	2,071	9,900
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	297	0	168,500
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	その他事業費※	5	146,329	159,304
支出合計		8,141	156,204	345,528
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	78,190
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	57,500
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		8,141	20,514	245,753
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		71	176	2,145

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	用地取得		
	説明	本事務事業において用地取得が事業進捗上重要であるため、用地取得を指標として設定する。		
活動	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1	1	2
	実績値	0	1	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>土地所有者及び共同住宅の借間人との交渉を粘り強く続け、土地売買契約と借間人補償契約を合計11件締結したことにより用地未取得が残り2件となった。残り2件については、令和3年度の契約締結に向けて交渉を進めた。</p> <p>道路整備工事については、交差点形状や安全対策に関する課題解決のため、関係機関との協議を早期に完了させる必要がある。</p> <p>事務事業の効果として、用地取得が進んだことにより、本市の交通体系を担う幹線道路の整備に向け、実現性が増した。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は、残る用地の買収を早期に進め、買収完了後は速やかに道路築造工事に着手できるよう、用地交渉と並行して関係機関協議及び道路設計に取り組む。
中長期的方向性	
完了	